

第 9 2 回

2015 10/8(木) 15:00-16:30

モデレーター: Marie-Paule Kieny

(WHO事務局長補 ヘルスシステムイノベーション担当)

R&D in Global Health ;

Lesson Learned from Ebola Response

未 来

会場: 慶應義塾大学大阪シティキャンパス
グランフロント大阪 ナレッジキャピタル
(北館タワーC 10階)
* JR大阪駅直結

医 療

主催: 大阪大学大学院医学系研究科
慶應義塾大学
共催: 未来医療交流会

セ ミ ナ ー



キニー博士は、1980年にフランスのモンペリエ工学で細菌学の博士を取得後、細菌学・免疫学・ウイルス学の研究を精力的に進め、2001年からはWHOにおける新ワクチンの開発、ライセンス事業の担当官として、髄膜炎や世界流行するインフルエンザワクチンの開発とライセンス化を達成し、2012年に事務局長補となりました。

WHOの世界戦略として、健康システムやイノベーションの方針や具体的な活動についての講演を予定しております。

お問い合わせ: 大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学 gkyomu@pbhel.med.osaka-u.ac.jp